**インキュベーションラボ提案書（様式①）**

**１．インキュベーションラボに提案するテーマの名称（30文字以内）**

|  |
| --- |
|  |

**２．インキュベーションラボへ提案する組織の概要**

**（１）提案組織（事務局）**

|  |
| --- |
| 組織名称：  |
| 代表者名・役職名： |
| 所在地：〒 |
| 担当者名・所属・役職名：  |
| 電話番号： |
| 窓口担当者のメールアドレス： |
| 従事するメンバーの実質人数： |

**（２）複数の組織で提案体制を構成する場合**

1. 提案体制を複数の組織で構成する場合は、構成する組織の名前、業種と従事するメンバーの実質人数を組織ごとにご記入ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 組織名 | 業種 | 従事するメンバーの実質人数 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

＊提案書に記載する構成企業等からあらかじめ同意を得ていることが必要です。

＊業種の欄は、「日本標準産業分類」における主たる業種名（中分類）を記入してください。

＊５組織以上の場合は適宜、行を追加して記入する、もしくは別紙にて添付してください。

**３．提案テーマの内容**

**（１）インキュベーションラボで取り扱うテーマ**

インキュベーションラボで取り扱うテーマは下記の4つの特徴を有しているものを対象としています。

|  |  |
| --- | --- |
| 採番 | テーマの特徴 |
| １． | 日本の生活者の利便性向上に寄与し、かつ市場拡大の可能性が見込めるテーマであること |
| ２． | 産業の国際競争力の強化につながるテーマであること |
| ３． | 多分野の様々なプレーヤーが関与し、標準等を決めることで効果があるテーマであること |
| ４. | 単なるアプリケーションではなく、インフラやルールの形成に寄与し、横展開可能なテーマであること |

1. ご提案されるテーマが上記特徴に該当すると考える背景・理由等について簡潔にご記入ください。
1. 日本の生活者の利便性向上に寄与し、かつ市場拡大の可能性が見込めるテーマであること

|  |
| --- |
|  |

 2. 産業の国際競争力の強化につながるテーマであること

|  |
| --- |
|  |

 3. 多分野の様々なプレーヤーが関与し、標準等を決めることで効果があるテーマであること

|  |
| --- |
|  |

 4. 単なるアプリケーションではなく、インフラやルールの形成に寄与し、横展開可能なテーマであること

|  |
| --- |
|  |

**（２）提案するテーマのビジョン**

1. アーキテクチャ設計を通じて、Society5.0における目指す創出価値・実現する社会の姿（成果となるアーキテクチャがどのように利用されるかについて、利用場面・利用者・ステークホルダー等の構想があれば、それも含める）の構想についてご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

**（３）対象分野（テーマ）の現状、関連する内部・外部環境要因**

1. 関連する産業分野の動向（規制動向、技術動向、国際動向等）についてご記入ください。過去の変遷や対象分野の将来予測を前提とした現状を示してください。

|  |
| --- |
|  |

1. 現状の関連する産業分野が持つ課題（市場内外の両面）、想定される原因、官民でこれまで試行された解決策とその限界（なぜ解決に至らなかったかという背景等）についてご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

**（４）アーキテクチャ設計を通じた課題解決**

1. アーキテクチャを用いて解決したい課題のスコープ・ポイントについてご記入ください。（分野横断的な要素、ルール・規制等のガバナンスの在り方、生活・産業の基盤に対する影響等、課題の有する特徴に基づき、解決を目指す対象について明示してください。）また、その課題を設定した理由として、その課題に関する他の取り組み・動きと今回の活動との関係性についてご記入ください。

|  |
| --- |
| 課題のスコープ・ポイントその課題を設定した理由（他の関連する活動との関係性） |

1. アーキテクチャに注目した理由についてご記入ください。（なぜアーキテクチャ設計という手段が課題解決の手段として適切と考えたか。課題構造の複雑性、分野横断的議論の必要性、ステークホルダーの高い多様性等の視点をふまえ示してください。）

|  |
| --- |
|  |

**４．今後のアクションプラン**

1. **アクションプランの概要**
2. 検討のスコープ・論点、検討方法、検討の体制（提案組織の担う役割を明記）、スケジュールについて可能な限り具体的にご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

1. **必要とするDADCによる支援策**

|  |
| --- |
| 【アーキテクチャ設計推進のための支援例】* 対象分野の関連企業、有識者、関連省庁等との議論の場の設定
* アーキテクチャ設計に関連する海外動向等の基礎調査の支援や議論の場の設定
* アーキテクチャ設計試行の支援
 |

1. 上記の支援例を参考に、アクションプランの遂行に際し、必要とするDADCによる支援策を簡潔にご記入ください。

|  |
| --- |
| 必要とする支援策（希望する支援策）： |

**（３）連携すべきステークホルダー**

1. インキュベーションを適切かつ創造的に運営・発展するために連携すべき所管省庁（可能であれば担当者も）についてご記入ください。当該所管省庁において、既に推進されている政策研究や委員会があればご記入ください。

|  |
| --- |
| 所管省庁名： |
| 担当者： |
| 推進されている政策研究： |

1. インキュベーションを適切かつ創造的に運営・発展するために連携すべき有識者について、これまでの経歴、インキュベーションラボで期待する役割等をご記入ください。

|  |
| --- |
| 氏名： |
| 所属： |
| 経歴： |
| 期待する役割： |

＊複数人存在する場合は適宜、行を追加してください。

**５．その他**

**（１）DADCの既存取り組みテーマとの関係性**

1. インキュベーションラボに提案するテーマが、DADCの行っている取り組みや、既存のプロジェクト（https://www.ipa.go.jp/dadc/architecture/wg\_about.html）との関連性、発展性があればご記入ください。（任意）

|  |
| --- |
|  |

**提案書（様式②）**

組織名称：

テーマ名称：

**Society5.0における目指す創出価値・実現する社会の姿**

根拠

具体化

**対象分野（テーマ）の現状、関連する内部・外部環境要因**

**アーキテクチャ設計を通じた課題解決**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **アクションプラン（実施事項詳細化）** | **想定工数（人月）** | **スケジュール** |
| **1か月目** | **2か月目** | **3か月目** | **4か月目** | **5か月目** | **6か月目** |
| **1** |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **2** |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **3** |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**対象とする産業分野の動向**

**課題のスコープと設定理由**

**アーキテクチャに注目した理由**

**対象とする産業分野の課題**





